

観光誘客について



関 幸夫

質問

観光誘客の二次交通整備は

町 関係機関と連携して進めたい

問 観光誘客の二次交通手段の取り組みは。

答 きゅーびー号のルートを増設した。増設ルートの結果を検証し、より良いものになりたい。

問 きゅーびー号以外の二次交通の整備は。

答 送迎アプリの実証実験を那須高原次世代交通プロジェクト協議会が行う。関係機関と今まで以上に連携を進めたい。

問 外国人観光客誘致促進の取り組みは。

答 県、近隣市町村、インバウンド協議会と連携を図り、広域観光の推進、宿泊滞在型観光の強化を図る。

※エリアを超えた広域の連携・交通事業者との調整役であり、次世代型の交通を整備する協議会のこと。



◀この一般質問の映像はこちらから

問 誘致のターゲットとする国、地域はどこか。

答 中国、台湾、香港、タイ、ベトナムなどのアジア地域。

問 外国人観光客の受け入れ体制の整備は。

答 外国語案内表示や施設従業員のスキルアップなど国、県の補助や県が開設する多言語コールセンターの情報提供を関係施設に行い、受け入れ体制を強化したい。



増便されたきゅーびー号

地区別新生再生計画について

質問

地区別新生再生計画の進捗は

町 具体化へ加速したい

問 町長の公約である地区別新生再生計画の具体化に向けた取り組みの進捗は。

答 地区ごとに振興策を導入し地域力の底上げに取り組む。現状を踏まえ、取り組み方法を検討しており、具体化への取り組みを加速したい。

問 地区別新生再生計画の実現には財政的な担保も必要。財政セクションではどのように考えているか。

答 投資タイミングを見極めて、攻めの予算を編成する年も必要と考えている。

問 本年度当初予算にある黒田原駅前まちづくり基本計画の基本的な考えは。

答 行政の押し付けではなく地域の皆さんの考えを尊重した計画づくり、施策展開を考えている。

問 黒田原駅前にある旧立正校成会周辺の活用は。

答 黒田原まちづくり推進協議会と定期的に話し合いを行っており、7月から8月には方向性を示したいと考えている。



活用が期待される旧立正校成会

※ほかに「人口減少対策について」の質問もしております。